

笑顔の輪

鹿嶋市立鹿島中学校 三年

飯塚大輝

私の母は介護施設で働いています。お年寄りの方をお風呂にいられたり、ごはんを食べさせたり、レクリエーションをしたりしています。そんな母が私に言いました。

「介護職員って、すごく大変な仕事だけれども、やりがいもある楽しい仕事だよ。」

しかし、私は、人の面倒を見る事が本当に楽しい事なのか。不思議に思っていました。

ある雪の日、母の勤務する老人ホームに行った事がありました。当時の私は、保育園に通っていました。悪天候と、あまり知らない人と話すことがとても苦手な人見知りの性格も重なって、行くのは正直いやでした。ですが、母の願いもあり、しぶしぶ行く事になりました。老人ホーム

には八十歳以上の人が多く、歩くだけでも一苦勞な様子がかがえました。高齢者の方と打ち解ける話題も分かりません。自分が何をすればよいのかもまったく分かりませんでした。

老人ホームの中で母は常に動き続けていて、他の人も忙しそうに働いていました。一人の人をお風呂に入れたらすぐにオムツを替える。ドライヤーの熱に気をつけて、髪を乾かしてあげる。話には聞いていましたが、本当に休む暇なく仕事をしているではありませんか。ますます楽しいというのはどういう事なのか分からなくなりました。

母が仕事をしていると、レクリエーションタイムになりました。自分から話すなどという事ができなかった私に、

お年寄りの方から声を掛けてくれました。折り紙と一緒に折ろうと誘ってくれました。そこまで折り紙が上手なわけでも好きでもありませんでしたが、紙飛行機などを一緒に折りました。簡単なものしかできませんでしたがいろんな人と折っていると、「ありがとう。」を、たくさんのお年寄りの方がそう言ってくれる事に気付きました。誰でもできるような事なのに…。一緒に折り紙を折ると感謝してもらええる事がとてうれしくて、その後も私はお年寄りの人と一緒に折り紙などをして過ごしました。お年寄りの方はいつも笑顔で私に話し掛けてくれました。すると、私もいつの間にか笑顔で会話を楽しんでいました。自分から笑わせたくわけでもありません。それでも周りが笑顔になったことが、すごいと思います。

その後、レクリエーションの時間は、あつという間に過ぎました。夕方になり、お年寄りの方とはお別れの時間になってしまいました。一日だけだったけれども、過ごした時間はとても濃く、楽しいと感じました。また来たいという思いさえも感じ、とても嬉しかったです。

老人ホームでの一日を振り返れば、母が言っていた「大

変だけれども、やりがいも楽しさもある。」という言葉の意味を感じる事が出来ました。母は仕事中大変そうに動いていましたが、顔はとても笑っていました。母のその笑顔の意味がやっと分かったような気がします。

また、お年寄りの方が言ってくれた言葉である「ありがとう。」この心の込もった「ありがとう」は、自分だけではなく、周りの人までも笑顔にしてくれる魔法の言葉なのだと思えました。

私は今、中学三年生になりました。今でもたくさんの人に「ありがとう。」を伝えられるように意識して生活しています。周りにいる人に笑顔と「ありがとう」という言葉を伝え続けることでこれからも笑顔の輪を広げていきたいです。

おばあちゃん。あの時、私に声をかけてくれてありがとう。また一緒に折り紙、折ろうね。

中学生になった今の私は胸を張って笑顔でそう言えるようになったようになりました。